A decorative graphic consisting of a vertical blue bar on the left and a horizontal blue bar crossing it, with a lighter blue gradient extending to the right.

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）

平成21年6月

 富山信用金庫

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況【目次】

1. 進捗状況の公表にあたって	1 ページ
2. 目標とする計数の達成状況	2 ページ
3. 大項目ごとの進捗状況	3～4 ページ
4. 個別の項目ごとの進捗状況	5～10 ページ
5. 経営改善支援の取組み実績	11 ページ
6. 創業・新事業支援融資及び個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資実績	12 ページ

1. 進捗状況の公表にあたって

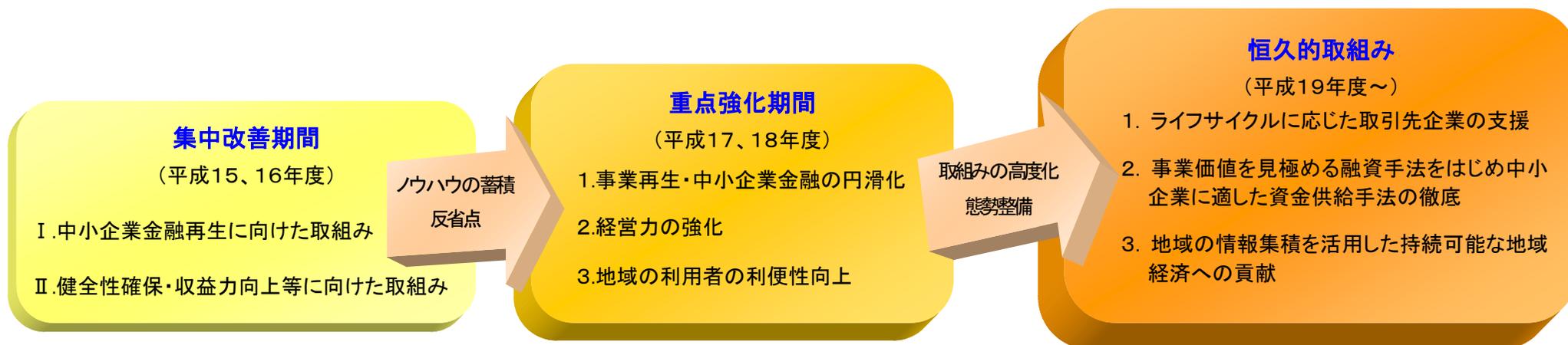
平成20年6月に策定・公表いたしました「地域密着型金融推進計画」に係る進捗状況(21年3月まで)について公表いたします。

地域密着型金融につきましては、平成15年度より各2年間二次に亘り、各々「集中改善期間」、「重点強化期間」とする推進計画を展開し、平成19年度からは恒久的な取り組みとして推進しているものです。

地域密着型金融への取り組みすなわち地域に密着した長期間にわたる取引関係に基づく金融取引を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化に資するための取り組みは、まさしく当金庫の基本方針「富山信用金庫は信頼され親しまれる金融機関として郷土の繁栄と中小企業の発展に奉仕する」の遂行に他ならないものと考えております。

平成20年度におきましては、各々の施策について、過去の計画の推進を通じたノウハウの蓄積や反省点を踏まえ、地域に密着した長期間にわたる取引関係に基づく金融取引を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化に資するべく、富山信用金庫全組織を上げ本計画を遂行し、着実に成果を上げることができました。

しかしながら、現状の地域内の経済環境等を考えますと、今まで以上に態勢をより強化・充実させるとともに、蓄積してきたノウハウや研修等の成果をいかに発揮して、一層の具体的成果を目指さなければならないと考えております。



2. 目標とする計数の達成状況

項 目	目 標 計 数	平成21年3月までの達成状況	
コラボ産学官富山支部会員の拡大	会員数 150名	会員数 141名	対象先を、現在技術面での課題や問題を抱えている企業とした為、目標達成には至りませんでした
経営改善支援取組み先	30先	36先	36先の経営改善支援に取り組みました
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品	30先 150百万円	50先 340百万円	目標を達成しました
スコアリングモデルを活用した融資商品	15先 50百万円	38先 118百万円	目標を達成しました
中小企業基盤整備機構・商工会議所との連携による出前経営相談の実施	年2回 12店舗	年2回 14店舗	年2回 14店舗にて実施しました
不良債権比率	6%台	5.56%	目標を達成しました

3. 大項目ごとの進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

- 創業支援・新事業支援
 - ・産学官・金のコラボ産学官富山支部が実施する事業を支援しました
 - ・協力教育研究機関施設見学会を開催しました
 - ・経営力企業支援セミナーを3回開催しました
 - ・公的制度融資を含む支援資金の活用を推進しました
- 経営改善支援
 - ・富山地区で富山商工会議所、中小企業診断協会富山県支部と連携、射水地区で中小企業基盤整備機構北陸支部と連携した経営相談会を開催しました
 - ・「とみしんサクセスクラブ」で経営セミナーを2回開催しました
 - ・北陸地区18信用金庫合同で、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2008」を開催しました
 - ・ベンチャー・リンク主催の「第22回東京ビジネス・サミット2008」に参加しました
 - ・東海地区信用金庫協会主催の「ビジネスフェア2008」に参加しました
 - ・経営改善支援に取り組みました
- 事業再生支援
 - ・中小企業再生支援協議会主導による再生計画策定先を継続して支援しています
 - ・中小企業再生支援協議会主導で他金融機関との協調融資にて整理回収機構(RCC)から債権を買い取り、企業再生に取り組みました
 - ・中小企業再生支援協議会と企業再生事案「事前相談会」を開催しました
- 事業承継支援
 - ・相続対策コンサルティングやM&Aの仲介
 - ・「地域力連携拠点」である富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、富山県新世紀産業機構の3団体とパートナ

一機関(支援機関)として「地域力連携拠点パートナー協力に関する覚書」を締結しました

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み
 - ・財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資及びスコアリングモデルを活用した担保・保証に過度に依存しない融資の推進を図りました
 - ・シンジケートローンに取り組み、実行しました
- 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み
 - ・人材育成のため、北陸地区信用金庫協会、富山県新世紀産業機構、富山県中小企業家同友会、富山市新産業支援センター等の主催する研修会・セミナー等に参加しました
 - ・外部講師を招いた研修会に取り組みました

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み
 - ・富山市が推進する街づくりを支援しています
 - ・富山市交通整備事業を支援しています
 - ・市街地再開発を支援しています
 - ・インターンシップを実施しました
- 地域活性化につながる多様なサービスの提供
 - ・しんきんビジネスフェアを合同で開催しました
 - ・地域の特性や利用者のニーズを踏まえたPFI事業・コミュニティビジネスやNPOへの支援等に取り組みました
 - ・小学生を対象に「キッズ・マネースクール」を開催しました
 - ・相談能力の向上に取り組みました
 - ・多重債務者相談窓口を設置し、相談窓口は「住宅ローンの返済で困った時・多重債務で相談したい時」の併用窓口としました

4. 個別の項目ごとの進捗状況

	検討内容等	進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
創業支援・新事業支援 ・中小企業基盤整備機構のファンドをはじめとする業務提携（業務提携済み） ・産学官・金のコラボ産学官富山支部事業計画の支援 ・経済産業省の推進する技術評価等と連携 ・とみしん創業支援資金の活用	・公的機関との業務連携、協力の取組み ・地方の大学と中小企業、行政との橋渡しを目指す産学官連携の取組み	コラボ産学官富山支部の取組み ・支部担当者が会員企業 131 社への訪問を実施しました。（4 月） ・富山大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー主催の「とやまビジネスプランコンテスト」に会員企業 3 社がエントリーし、役員 1 名、支店長 5 名、本部から 4 名が参加しました。（5 月 21 日） ・産学連携関係者との意見交換会を開催しました。（富山大学をはじめ 10 教育研究機関から 10 名の参加・5 月 30 日） ・「コラボ経営支援セミナー」を開催しました。（6 月 24 日） （テーマ及び講師） 「企業経営と知財のかかわり」 富山大学 永井 嘉隆氏 「研究開発型企業における中核人材の確保と育成」 中小企業金融公庫 芳野 昌利氏 （参加会員企業 51 社、61 名） ・富山大学主催の「第 5 回リエゾンフェスティバル」にコラボ産学官富山支部会員企業 13 社 14 名、役員 2 名、支店長 6 名、本部から 6 名が参加しました。（7 月 4 日） ・協力教育研究機関施設見学会を開催しました。（富大工学部・参加会員企業 24 社、31 名、技術相談 8 社・8 月 7 日） ・北陸経済連合会北陸STC事業部が主催する「第 26 回STCサロン」（開催場所：富山大学高岡キャンパス）に支部担当者が参加しました。（9 月 5 日） ・富山県立大学リエゾンサポーター交流会に支部担当者が参加しました。（11 月 5 日） ・「経営力企業支援セミナー」を開催しました。（11 月 14 日） （テーマ及び講師） 「富山県新世紀産業機構の支援策」

	検討内容等	進捗状況
		<p>富山県新世紀産業機構 山崎 務氏 「小さな企業の外部資源活用術」 日本政策金融公庫 川楠 誠司氏 「産学官連携の成功・失敗事例に学ぶ」 富山大学 岩瀬 洋一氏 「産学官連携の成功・失敗事例に学ぶ」 富山県立大学 山田 恵宣氏 (参加会員企業 38 社、48 名) ・「経営力企業支援セミナー」を開催しました。(2 月 20 日) (テーマ及び講師) 「事業承継に関する国の支援策」 中小企業基盤整備機構北陸支部 竹内 広幸氏 「中堅中小企業の事業承継とM&A」 ㈱スターシップホールディングス 代表取締役 畠 嘉伸氏 (参加会員企業 53 社、64 名) 創業・新事業支援 ・創業・新事業支援については、公的制度を含む融資を 19 先 113 百万円実行しました。</p>
<p>経営改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が実施している支援制度の活用 ・情報機能やネットワークを活用したビジネスフェアの開催 ・国・地方公共団体との連携による中小企業施策の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング支援策として情報提供機能、「とみしんサクセスクラブ」の一層の強化 ・営業店と連携し、要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「とみしんサクセスクラブ」で経営セミナーを開催しました。「きばらんかい！経営者！」に 70 名余りの参加がありました。(8 月 5 日) ・「とみしんサクセスクラブ」で経営セミナーを開催しました。“建設業界向け経営セミナー”として、「建設業界のとるべき経営戦略とは」に 60 名余りの参加がありました。(10 月 9 日) ・経営改善支援の取組先を 36 先選定し、ランクアップに取組み、8 先をランクアップしました。
<p>事業再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会の活用 ・整理回収機構の企業再生スキームの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業再生支援事案への積極的な取組み ・再生支援実績があれば事例についての情報を開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県中小企業再生支援協議会主導で当金庫と他金融機関(信金・都市銀行)による協調融資で、整理回収機構(RCC)からの債権の買い取りによる企業再生に取組みました。 ・富山県中小企業再生支援協議会と企業再生事案「事前相談会」を

	検討内容等	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> 信用保証制度の適切な活用も踏まえたDIPファイナンスの活用 		開催しました。(6月17日)相談事案は4社ですが、再生に馴染むものには至っていません。
事業承継 <ul style="list-style-type: none"> 相続対策コンサルティングやM&Aの仲介 中部経済産業局委託による「地域力連携拠点」事業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先企業に信金キャピタル(株)のM&A情報を提供し、信金キャピタル(株)他3社と連携し、M&A業務の取組み 中小企業が直面する課題に対して、きめ細かな支援を行う事業にパートナー機関(支援機関)として協力 	<ul style="list-style-type: none"> M&Aの案件は現在、譲渡希望2社について取り組んでいますが、成約までには至っていません。 中小企業基盤整備機構主催で開催された「事業承継セミナー」に経営相談担当3名が参加しました。(9月3日) 「コラボ産学官富山支部」のセミナーとして、事業承継に関する国の支援策“中堅中小企業の事業承継とM&A”を開催し、53社、64名の参加がありました。(2月20日) 富山県の採択機関6団体のうち、富山商工会議所・富山県中小企業団体中央会・富山県新世紀産業機構の3団体と、支援機関として「地域力連携拠点パートナー協力に関する覚書」を締結しました。(5月30日)
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
目利き能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 取引先企業への実地研修の実施 融資渉外者の研修(中小公庫との業務提携による講師派遣・TKCとの連携による講師派遣) 外部研修への派遣と復講の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「目利き力養成」のため取引先企業にて実地研修の実施 「目利き力養成」のため派遣講師による研修の実施 「目利き力養成」のため各種セミナー等への参加 	(研修会) <ul style="list-style-type: none"> 融資担当者を対象に「中小企業会計指針」について、TKCより講師を招き研修会を開催しました。(4月16日) 融資担当者を対象に「新しい事業承継の税務」について、TKCより講師を招き研修会を開催しました。(7月23日) 支店長を対象に「シンジケートローンの取組み」について、信金中央金庫より講師を招き研修会を開催しました。(8月21日) 融資担当者を対象に「富山県新世紀産業機構の支援策と活用事例」について、同機構より講師を招き研修会を開催しました。(10月16日) 店舗長及び融資担当役席を対象に「ヒアリング手法習得と経営改善計画作成支援」について、金融財政事情研究会研修センターより講師を招き研修会を開催しました。(2月17日) 若手店舗長15名を対象に経済産業省委託事業として「経営戦略立案」についての研修会を富山県総合情報センターより講師を招き開

	検討内容等	進捗状況
		<p>催しました。(2月7日、14日、21日の3日間) (セミナー等への参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市新産業支援センターが主催する「起業家セミナー」に支店長3名、経営相談担当2名が参加しました。(7月25日) ・富山県機電工業会が主催する経営研修「トヨタ流: 実例によるリーダーシップ」に役員1名、支店長5名、経営相談担当2名が参加しました。(8月22日) ・中小企業基盤整備機構北陸支部が主催する「事業承継セミナー」に経営相談担当3名が参加しました。(9月3日) ・富山市新産業支援センターが主催する「経営支援セミナー」に経営相談担当3名が参加しました。(9月4日) ・高岡法科大学、富山国際大学が主催する「ビジネスマン・イブニングセミナー」5コース各5日間に支店長5名が参加しました。 ・富山県新世紀産業機構が主催する「企業経営者講演会」に役員1名、店舗長3名が参加しました。(9月20日) ・富山市新産業支援センターが主催する「経営支援セミナー」(ITを活用して経営の改善を)に店舗長3名、経営相談担当2名が参加しました。(10月16日) ・富山県新世紀産業機構が主催する「企業経営者講演会」に役員2名、本部部長2名、店舗長2名が参加しました。(10月25日) ・富山県中小企業家同友会が主催する「第20回経営研究フォーラム」に役員2名、店舗長6名、経営相談担当2名が参加しました。(10月25日) ・富山県新世紀産業機構が主催する「企業経営者講演会」に役員1名、本部部長2名、店舗長4名が参加しました。(11月1日) ・富山市新産業支援センターが主催する「経営支援セミナー」(経営革新による活性化)に経営相談担当2名が参加しました。(11月18日) ・中部地域農商工連携協議会、北陸・東海農政局、中小機構北陸支部・中部支部、富山県が主催する「農商工連携フォーラム in 富山」(農林漁業者と商工業者の融合が新ビジネスを生む。)に店舗長8名、経営相談担当3名が参加しました。(2月25日) <p>(外部研修)</p>

	検討内容等	進捗状況
		・北陸地区信用金庫協会主催の研修「企業ランクアップ講座」に店舗長2名が参加しました。(10月15日～17日)
	財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資商品の推進	・50先 340百万円実行しました。
	動産・債権譲渡担保融資の実施	・動産担保融資に取り組んでいます。
	各種ファンドの活用(コラボ産学官・新世紀産業機構のファンド)	・事案について積極的に取り組んでいます。
	CLOの活用	・過去2回実施
	シンジケートローンの活用	・本年度は経済状況から取組みに至りませんでした。
	介護業を専門とする審査担当者の育成	・2先 485百万円実行しました。
	中小企業基盤整備機構・商工会議所との連携による出前経営相談の実施	・本年度は実施できず来年度検討します。
	・中小企業基盤整備機構北陸支部、富山商工会議所、中小企業診断協会富山県支部と連携して実施	・9月に経営相談会を8店舗で開催し31件の相談がありました。(9月8日、9日、11日、17日、18日の5日間) ・2月に経営相談会を6店舗で開催し24件の相談がありました。(2月9日、10日、12日、13日、の4日間)
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
	富山市が推進する街づくりに対する支援(役員の派遣等)	・(株)まちづくりとやま(賑わいづくりイベント、行事他)に出資及び役員の派遣をしています。
	富山市交通整備事業に対する支援(出資)	・富山ライトレール(株)に出資し継続的に支援を行っています。
	市中心街活性化事業に対する支援(出資・融資)	・総曲輪通り南地区第一種市街地再開発事業に出資し継続的な支援を行っています。
	中小企業再生支援協議会の活用	・富山県中小企業再生支援協議会に随時訪問して情報交換を行っています。 ・同協議会と企業再生事案「事前相談会」を開催しました。(6月17日)
	情報機能やネットワークを活用したビジネスフェアの開催	北陸地区信用金庫協会主催による、しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道 2008」を開催しました。(10月3日)

	検討内容等	進捗状況
	国・地方公共団体との連携による中小企業施策の活用	・中部産業局・中小企業庁等関係団体の施策の広報に努めています。(中小企業庁「ガイドブック」及び「リーフレット」3種類をコラボ産学官富山支部会員へ配布しました。「ガイドブック」及び「リーフレット」16種類を営業店へ配布しました。)
	商工会議所等の実施する行事への支援・協力(富山市ヤングカンパニー賞審査員の派遣、インターンシップ研修生の受け入れ)	・富山市ヤングカンパニー賞の審査員を派遣しています。 ・大学生4名(9月8日～12日)、高校生2名(3月17日～19日)を受け入れ、インターンシップを実施しました。
	次代を担う若い世代への金融知識の普及	・「キッズマネースクール」を開催しました。 7月28日 双代町支店にて(東部小学校他25名) 7月29日 射水営業部にて(小杉小学校27名)
	コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援(NPOローン)	・平成18年9月「とみしんNPOローン」創設。
	PFI事業への取組み	・「新庄小学校分離新設校及び新設公民館等設計・建設・維持管理事業」に参加し取組んでいます。(開校は平成22年4月の予定) 12月22日 22,500千円実行しました。 3月27日 57,500千円実行しました。 (短期資金 380百万円、長期資金 66百万円)
	相談能力向上	・外部研修会への参加、内部研修会の実施、トレーニーの実施、各種セミナーへの参加等に取組んでいます。
	融資コンサルタント研修への職員の派遣	・融資コンサルタント研修の実施及び派遣を検討しています。
	多重債務者問題に対応できる職員の育成	・「多重債務相談窓口マニュアル」を制定しました。(3月9日) ・同マニュアルの研修会・説明会を開催しました。(3月10日、11日)
	多重債務者相談窓口の設置	・全店に「多重債務相談窓口」を開設しました。(3月13日より)相談担当者は店舗長及び融資担当役席とし、相談窓口は「住宅ローンの返済で困った時・多重債務で相談したい時」の併用窓口としました。

5. 経営改善支援の取組み実績

	期初 債務者数 A	うち 経営改善 支援取組 み先 α	αのうち			経営改善 支援取組 み率 α/A	ランクアッ プ率 β/α	再生計画 策定率 θ/α	
			期末に債務 者区分がラ ンクアップ した先数 β	期末に債務 者区分が 変化しなかつた先数 γ	再生計画を 策定した先 数 θ				
正 常 先 ①	2,943	0		0	0	0.0%		0.0%	
要 注 意 先	うち他要注意先 ②	401	34	7	26	1	8.5%	20.6%	2.9%
	うち要管理先 ③	30	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先 ④	101	2	1	1	0	2.0%	50.0%	0.0%	
実質破綻先 ⑤	76	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破 綻 先 ⑥	41	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小 計(②~⑥の計)	649	36	8	27	1	5.5%	22.2%	2.8%	
合 計	3,592	36	8	27	1	1.0%	22.2%	2.8%	

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は20年4月当初時点で整理してあります。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先を記載してあります。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うち他要注意先」にランクアップした場合はβに含めてあります。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理してあります。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載してあります。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上してあります。

6. 創業・新事業支援融資及び個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資実績

融 資 項 目	平成20年度中実績	
	件 数	金額(百万円)
創業・新事業支援融資	19	113
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資		
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資	50	340
スコアリングモデルを活用した融資	38	118
動産・債権譲渡担保融資	—	—
財務制限条項活用融資	2	485
NPO融資	—	—